

2011. 3. 22.

キーブレイン

岡本 勲

閉塞感をいかに打破するか

I. 閉塞感の現状

1. 社会の閉塞感
不安感の増大

チャレンジ精神の消滅

防御姿勢

2. 年代層に拡大する閉塞感
高齢者の絶望感

中年層の無気力感

若年層の内向き志向

3. 経済社会の閉塞感
自由な発言の抑制

イノベーションの払底

官僚化、無責任志向—社畜族

II. 閉塞感の打破

I. 安全安心社会の実現 防災国土開発

老後社会の安定化

雇用の確保

ただし安定志向の打破

2. 挑戦的社会への移行 第2次産業革命の推進

科学技術の革新

国際社会との共存—日本的アイデンティティーの維持

3. 経営イノベーションの推進 ネットワーク型組織構造の構築

個人的ポテンシャルの発掘

ヒューマン・ウェアの重視

Ⅲ. 自律型個人の育成

1. 倫理観

2. 他人目線—コミュニケーション能力

3. 責任感—自己責任

4. 判断力

5. 自主性

6. 自立性

7. 自律性